

総務建設委員会活動報告レポート 所管調査事務事項について

メインテーマ

将来を見据えた魅力あるまちづくり

具体的な進め方のイメージ

農業再活性化を目指して！

- ・既存の事業を精査
- ・小規模農業経営への支援
- ・新たな取り組みの模索

今後のまちのあり方に向け協議の土台づくり

- ・1市2制度への考え方
- ・これからの区・自治会

移住定住促進への後押し！

- ・「移住＋農業」モデル調査
- ・時勢を先取した新視点を

文教厚生委員会活動レポート 所管調査事務事項について

メインテーマ

環境保全に向けた取り組みについて

深刻化しているごみ問題については1地域あるいは1国ではなく地球規模の問題となっております。温室効果ガス発生による環境汚染、プラスチック・ペットボトルの処理さらにゴミの資源化等の方法とともに、ごみの発生を減らす、出さない取り組みをしていくことが求められています。

行政と市民が一緒になって解決しなければなりません。当市は豊かな海に面したまちであり、海洋汚染が生活に直結します。汚染の主因がプラスチック、ペットボトルの海洋流出です。また、食べ残しや廃棄による食品残渣、可燃ゴミ全体の削減に対する市民意識、6Rの推進等の課題もありません。これらの問題について考えることを委員会として取り組んでいます。

いま私たちはごみに対する考え方を根本的に見直す転換点にあるといえることから環境に関する牧之原市の課題を出し合いました。地球や地域の生活環境の維持、改善のために待った無しの手柄です。これまで議論、調査とともに課題を踏まえ市内の環境保全関連施設である2カ所の焼却場、食品残渣によるバイオ発電所の視察を行いました。また、市当局による勉強会の開催、さらに今後、市民との意見交換会を予定しています。引き続き行政や市民の役割、政策、施策について調査研究をしていきます。

以上の調査、研究と委員会による議論により令和3年夏ごろを目途に市に対する提言書としてまとめることにしています。

ご挨拶

新型コロナウイルスの感染拡大により、地域経済の活性化など、あらゆる面で大変深刻な影響が出ております。新型コロナウイルス感染症の終息が見えない今日、日常生活に大変な不自由・不便さを感じております。

例年、多くの市民の皆様にお集まりいただいて実施しております議会報告会ですが、本年は開催を中止させていただくことと致しました。

本来、市民の皆様方に議員活動などを知っていただく貴重な機会ではありますが、コロナウイルスの現状下では、熟慮の末、中止せざるを得ないと判断させていただきました。

市民会議や視察研修、議員研修等の活動を控えてはおりますが、各常任委員会、特別委員会等の報告をご覧いただくことで議会報告の一端とさせていただきます。

一日も早く新型コロナウイルス感染症が終息し、市民の皆様が穏やかな日常生活を取り戻すことができますよう、議員一同心から祈念申し上げます。



牧之原市議会議長 中野 康子

市独自の新型コロナ感染症対策として市議会が認めてきたもの

- ・RIDE ON MAKINOHARA 誘客 **宿泊助成** (1/2 以内・上限 5 千円)、商品券 1 千円
キャンペーン事業
- ・認定農業者協議会活動事業 花卉、野菜購入費及び広告作成
業費補助金事業
- ・茶業緊急支援事業 小中学校へのディスペンサー設置、茶業者支援
- ・救護所・避難所における **感染対策用品購入事業** 防護服、マスク、消毒液、空気清浄機、扇風機、体温計、**間仕切り等購入**
- ・子育て応援特別給付金事業 国の1人10万円の特別給付金対象日(4/27基準)以降に出生した令和2年度新生児に対し市独自で**10万円**を給付
- ・新型コロナウイルス拡大防 **止協力金事業** 休業要請協力金(飲食・宿泊30万円/件 その他遊興施設等への県助成20万円に市上乗せ10万円/件)
- ・小中学校衛生用品等整備事業 マスク、フェイスシールド、消毒液、体温計等購入
- ・海岸陸間(ゲート)閉鎖協力金 感染拡大地域からの来訪・海岸利用の**自粛**を呼びかけるパトロールに対する協力金 一律10万円

※その他にも国の事業と連動した補助・助成など多数あり

議員による条例づくりを推進!!

2000年の法改正により地方分権時代が幕を開けて以降、地方議会の果たすべき役割は増大し、また新たな機能として政策立案能力の強化が求められてきました。

わが牧之原市議会においても、政策立案能力の向上を目指し、議会自らによる「条例の制定」を目的として政策立案推進部会を立ち上げ、議会改革の一環としてワーキンググループでの取り組みを進めています。

・ワーキンググループ 1

【(仮称) 牧之原市の子どもたちの未来を育む条例】

牧之原市の宝物である子どもたちが、夢や希望を持って健やかに成長できる牧之原市の実現を目指すための条例制定に向けて取り組んでいます。

・ワーキンググループ 2

【議員の欠席時における議員報酬の特例に関する条例】

議員が市議会の会議等を長期欠席した場合に、議員報酬及び期末手当の支給について、欠席した期間に応じて減額するもので、議員も職責を果たせない場合は自らの責任を明確にする姿勢を示したものです。

なお、本条例を策定したのは県内中西部の市議会では初となりました。

(令和元年9月議会において、議員発議により制定済)

・ワーキンググループ 3

【(仮称) 田沼意次侯に学ぶ牧之原市のまちづくり条例】

意次侯生誕300年を契機とした、牧之原市の「田沼再興戦略」に掲げられる意次侯を活かした魅力あるまちづくり、その推進に向け条例制定に取り組んでいます。



田沼意次侯の生誕300年を契機とした「まちづくり」条例の制定に向けた取り組み

来年に向けて!

本年度の議会報告会は、残念ながら中止となってしまいましたが、牧之原市議会は今後も引き続き、議員と市民の皆様が、同じ方向に向かうことができるよう、地方議会としての本来の機能を十分発揮しつつ、風通しの良い開かれた議会を目指してまいります。

そして、市民、市、市議会が連携して、誰もが安全で、安心して暮らせる牧之原市の実現に向けて努力していきます。

牧之原市議会



(撮影のため一時的にマスクを外しています)

議会改革に取り組んでいます!!

「議会って何ををしているのか、よくわからない・・・」

おそらく、多くの方がこのような認識をされていると思います。

いま、全国の地方議会では、市民みなさんに「議会のしくみ」や「議会の働き」を知っていただき、身近な政治の舞台へ関心を持っていただけてだけでなく、市民の皆さんとともにまちづくりに参加できるような議会をめざした取り組みを行っています。このような取り組みのことを「議会改革」と言います。牧之原市議会でもこうした議会改革に向けて様々な取り組みを行っています。

「議会改革」の第一の目的は、市民の声を行政に生かせるように、議会の構造や考えを変えていくことであると考えます。これは、議会が市長に提案する政策提言を、市民の声をもとに議論を重ねて責任をもって判断して提言し、市長に執行してもらう。その実現に向かって様々な議会活動を行い、仕組みを変えていく取り組みということになります。

このような流れの中、牧之原市議会では次のような取り組みを行っています。

- ◎ 議案や委員会資料などのデータを蓄積し、タブレット端末を活用して審査の充実を図る。
- ◎ 議会だよりの発行だけでなく、ホームページの作成や議会中継のインターネット録画配信、会議録検索システムなど、議会情報の公開や、議員個々の議案の表決結果の公表。
- ◎ 身近な議会を目指し、各種団体との意見交換会の開催や議会報告会の開催。
- ◎ 議会の基本事項を定めている「議会基本条例」、「会議規則」や議会運営のルールを定めている「申し合わせ事項」などの見直し作業。

今後も、できることから一歩ずつ継続的に議会改革を進めていきます!

ぴれいぼく議会報告会2019 昨年、議会報告会にご参加くださった方から

こんなご意見いただきました! <抜粋・要約>

- 【報告会について】
 - ・女性や若い年代も参加できる報告会を実施して欲しい。
 - ・活動はわかかったが、具体的な値目標を設定しては。
 - ・プレゼンを工夫し、要点を絞って聞きやすい話し方を。
 - ・報告資料はあらかじめウェブなどにアップするように。
 - ・対面式での説明から、グループ討議にしたら。
 - ・プロジェクト資料が分かりやすかった。
 - ・説明は1時間以内にとどめて、次回開催の際に、改善してまいります。
- 【議員報酬・政務活動費】
 - ・議会改革を充実するための活動費は必要。ただし公正に。
 - ・兼業議員を減じ、専業議員を増やすため、定数を削減、手当を増やし若い議員を。
 - ・活動内容や議会の見える化により、報酬の話が出てくるのが筋であるが、上げるべきではあると思う。
 - ・活動費はありでよいが、市へ還元すべき。報酬と定数は関連して検討を。
- 【議会に期待すること】
 - ・旧町地区のことにあるゴミ焼却場の統一ができないのか。
 - ・早く庁舎の一本化を進めて欲しい。
 - ・議会と市民の温度差を感じる。市政に興味を持たせるようなことを。
 - ・市の財政をどうしたら増やすことができるかを考えて欲しい。
 - ・新しいものの整備もしいが、綺麗な海岸になるような提言をぜひお願いしたい。
- 【議員活動・議会改革について】
 - ・市民からの意見聴取の場を増やして欲しい。
 - ・議会の見える化は良いと思う。色々と活動が分かった。今後はインターネット等でチェックしたい。
 - ・今度も意見交換の場を増やしていきたいと思っています。また更なる情報発信にも努めてまいります。

